

数理解析研究所講究録 1018

短期共同研究

矩形管流れの解の構造

京都大学数理解析研究所

1997年11月

短期共同研究
矩形管流れの解の構造
報告集

1997年 7月22日～ 7月24日

研究代表者 水島 二郎(Jiro Mizushima)

目 次

1. 矩形管内流れの安定性と乱流への遷移-----	1
同志社大・工	足立 高弘(Takahiro Adachi)
2. 正方形断面管路内乱流の角部付近における乱れ特性-----	14
愛媛大・工	河原 源太(Genta Kawahara)
愛媛大・学長	鮎川 恭三(Kyozo Ayukawa)
愛媛大・工	越智 順治(Junji Ochi)
愛媛大大学院・理工	鎌田 英二(Eiji Kamada)
運輸省	小野 史博(Fumihiro Ono)
3. 曲がり管内流の構造-----	29
岡山大・工	柳瀬 眞一郎(Shinichiro Yanase)
岡山大大学院・工	大海 隆二(Ryuji Daikai)
岡山大大学院・工	森永 努(Tsutomu Morinaga)
4. ポアズイユ乱流・クエット乱流の平均速度、乱れ特性の実験研究-----	42
名古屋工業大	鬼頭 修己(Osami Kitoh)
5. バックステップ流中の渦構造-----	50
京大大学院・理	高岡 正憲(Masanori Takaoka)